

## 四阿山山行報告

【山行日】2020年8月30日(日) 晴れ

【集合】岩舟支所P AM 4:00

【費用】マイカー1台 : 3,100円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、齊藤、  
島田、関、鶴見、福島

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=菅平牧場

P6:20/6:40~根子岳 8:30/8:40~大隙間 9:10~

四阿山 10:30/10:50~鞍部 11:20/12:00~

中四阿山 12:10~菅平牧場 P14:00/14:15~

道の駅「ゆきむら夢工房」14:45/15:00=岩舟支所 P17:00

今回は雨飾山へ登る計画だったが、前日の天気予報を見ると雨飾山から白馬岳周辺だけが雨の予報になっていた。急遽、四阿山に変更して皆さんに連絡すると、全員参加の返事があり四阿山に登ることにした。北関東道から上信越道を走り、上田菅平ICで降りて菅平牧場の駐車場に着く。



出発の準備を整え、トイレとストレッチを済ませてスタートする。登山口脇のボックスに登山計画書を入れ、牧柵に沿って登って行く。20分程登ると東屋がある展望台に着き、衣服調整と水分補給を行う。この先からカラマツとシラカバの樹林帯に入り、やがて道はカラマツとササの草原へと変わる。さらに高度を上げるとダケカンバの高木帯になり、これを抜けると高山植物が生える草原を登るようになる。マツムシソウやミヤマアキノキリンソウ、ハクサンフウロなどの花が咲き、気持ちよく登ることが出来

る道が、山頂に向かってのびている。「マツムシソウの花が綺麗だね～」と皆さんの楽しそうな声を聞きながら根子岳山頂に着く。山頂は広く大きな祠と方向指示盤があり、360度の大展望が得られるが今日は雲が多く、北アルプス等の遠望は得られない。それでも眼下には登って来た牧場や野菜畑が裾野に広がり、これから登る四阿山から中四阿山が東側に聳えている。景色を楽しみながらキーウイフルーツや菓子をいただき、記念写真を撮ったら四阿山に向かって出発する。標識に従って狭い岩稜を下って行き、屏風岩の横を通り岩尾根を下って行く。途中、岩棚の展望所に登り展望を楽しみ、下から記念写真をパチリ。チシマザサの道を緩やかに下るようになり、振り返るとササの緑と屏風岩の岩壁が青空に映えとても素晴らしい。



チシマザサの道を下り切った所が大隙間と言われる所で、広い笹原を進みやがて柵やシラビソの



樹林帯を登るようになる。今日一番の急登で、岩や木の根の段差がいくつも現れ体力を奪われる。ペースをゆっくり落して登り切り、開けた草原に出て小休止する。果物や菓子を食べ、エネルギーを補給したら山頂に向かう。少し先で中四阿山へ下る道を右に分け、左に折れて山頂に向かう尾根を進む。しばらくすると木段を登るようになり、鳥居峠からの道を合わせて稜線通しに登ると四阿山山頂に着く。山頂には祠と山頂標識が立ち、大勢の登山者で賑わっていた。順番を待って記念写真を撮

り、奥の岩場に移動して休憩を取る。チーズケーキやゼリーをいただき、登頂した喜びを分かち合う。下山は往路を分岐まで戻り、直進して中四阿山に向かって下る。すぐに別荘地へ下る道を左に分け、直進して下ると展望が良い鞍部に出る。ここでランチタイムとし、蕎麦を温める。本日の山ご飯はとろろそばとダシ巻き卵、キュウリの漬物等が並び超豪華メニュー。ランチが済んだら下山開始し、中四阿山に向かう。中四阿山の山頂は岩峰になっており、ここからの眺望は素晴らしい。



つく。

牧場の入口で入山料を一人200円徴収され、入山証のしおりを人数分いただく。途中、道の駅「ゆきむら夢工房」に寄り、飲み物や野菜などのお買い物。小諸ICから上信越道に入り渋滞もなく順調に走り、予定より1時間早く岩舟支所に帰着した。

さらに尾根を進むと小四阿山に着き、小休止して水分を補給する。ここからは樹林帯の長い下りになり、しばらく下ると広い林道のような道を進み沢を丸木橋で渡る。沢沿いに少し登ると牧場に出て、牧柵に沿って進むと舗装道に出る。道路を右に進み、緩やかに下って行くと駐車場に着く。靴を履き替え、トイレを済ませたら帰路に

